

平成17年第1回ExTEND2005 リスクコミュニケーション推進 検討会 議事要旨

日時：平成17年8月4日(木) 16:00～18:00

場所：(財)環境情報普及センター会議室

III 出席委員：北野大(座長)、有田芳子、内山巖雄、小黑一三、川島久徳、吉川肇子、
間正理恵、村田幸雄、脇森裕夫
事務局：上家環境安全課長他

議題：

1. 平成17年度ExTEND2005 リスクコミュニケーション推進事業について
2. 平成17年度化学物質の内分泌かく乱作用に関するホームページ作成事業について
3. 平成17年度国際シンポジウム一般向けプログラムについて
4. 平成17年度身近な野生生物の観察事業について
5. その他

議事要旨

- (1) ExTEND2005におけるリスクコミュニケーション推進事業全体の方針について事務局から説明の後、検討が行われた。
- 【委員からの主な意見】
- ・リスクコミュニケーション手法自体についての研究についても検討してはどうか。
 - ・この検討会では、どうやって伝えるのかという方法の部分とコンテンツの部分の、どちらについて審議していくのか。コンテンツは各事業内で作成するので、それについてご意見をいただく。
- (2) ホームページについて作成途中のものを提示しながら説明。
- 【委員からの主な意見】
- ・トップページでの説明において、作成主体及び環境省の関わりを明確にすべきである。
 - ・「環境ホルモン」という言葉が使われていないのは問題ではないか。環境ホルモンという語で検索すればヒットするようになっている。
 - ・環境省で行っている事業についての宣伝ページがある方がよい。
 - ・出産/育児を行う女性をターゲットにするだけでなく、子どもへの情報発信も重要であることからキッズページ等を設ける方がよい。
 - ・質問ができるページを設ける方がよい。
- (3) 国際シンポジウム一般向けプログラムのうち、主にパネルディスカッション「今、自然界で何が起きているのか～内分泌かく乱作用から生態系をどう守っていくか～」について説明の後、検討が行われた。
- 【委員からの主な意見】
- ・双方向の意見交換の場として重要である。
 - ・事前の告知について工夫が必要である
- (4) 身近な野生生物の観察事業に関して、7月28日に開催した「野生生物の観察事業準備会」の報告等を交えて、初年度はエコクラブの活動と連携して実施する旨、説明の後、検討が行われた。

【委員からの主な意見】

- ・ これまで行われてきたエコクラブの活動と ExTEND2005 の事業内で行うこととはどう違うのか。 各エコクラブのレベルにもかなりの差があり、これらに対して画一的な方法を強制するのは困難である。 ExTEND2005 の事業の特徴としては、不明な点があれば、ほ乳類/魚類/無脊椎動物の専門家の方々につながる可以说是ということである。
- ・ 化学物質との関連といった目標をはっきり定めた方がよいのではないか。 まずは、子ども達に、野生生物の観察ということに馴染んでもらうことが大切だと考えている。

以 上